

ChatGPT に聞いてみた EU のマイクロカーとは

ChatGPT:

EU における「マイクロカー (Microcar)」とは、自動車と原付の中間に位置する超小型車両カテゴリで、L6e/L7e といった「軽四輪車 (Light Quadricycle / Heavy Quadricycle)」に分類されます。ヨーロッパでは、交通混雑や環境対策を背景にマイクロカーの普及が進んでおり、特に都市部では日常の足として実用化が進んでいます。

EU におけるマイクロカーの法的区分 (EU 法:L カテゴリ)

区分	名称	特徴
L6e	軽四輪車 (Light Quadricycle)	原付扱い。16 歳から運転可能。小排気量・低速。
L7e	重四輪車 (Heavy Quadricycle)	自動車に近い性能。重量・出力とも高めで高速道路も可。

L6e (軽四輪車) の主な規格

- ・ 定員: 2 人まで
- ・ 最高速度: 45km/h 以下
- ・ 出力: 4kW 以下 (約 5.4 馬力)
- ・ 重量: 425kg 以下 (バッテリー除く)
- ・ 免許: 16 歳以上が AM ライセンスで運転可能 (国によっては 14 歳可)

L7e (重四輪車) の主な規格





- ・ 定員: 通常 2 人、車種によっては 4 人
- ・ 最高速度: 100km/h 以上のモデルもあり
- ・ 出力: 15kW (20 馬力) 以下
- ・ 重量: 450kg 以下 (貨物タイプは 600kg)
- ・ 免許: 通常の B (普通自動車) 免許が必要

有名なマイクロカーメーカー・車種 (欧州)

メーカー	車種・特徴
Aixam (エクサム)	フランス最大のマイクロカーメーカー。L6e モデル多数あり。
Ligier (リジェ)	F1 で有名。スタイリッシュな 2 人乗り軽量車を展開。

メーカー	車種・特徴
Renault(ルノー)	「Twizy(トゥイジー)」が代表モデル。電動 2 人乗り。
Citroën(シトロエン)	「Ami(アミ)」は 14 歳から運転可能な超小型 EV。
Microline(マイクロリーノ)	Isetta 風デザインの復刻版 EV。L7e に該当。

マイクロカーが選ばれる理由(欧州)

-  都市部の交通渋滞・駐車問題に最適
-  環境負荷が少ない(電動モデルが主流)
-  若年層や高齢者も運転可能
-  EV 化への移行における入門車として支持

政策的背景とインセンティブ(欧州)

- 各国政府は、EV や小型モビリティの普及を促進するため、
 - 補助金制度(数千ユーロ規模)
 - 税優遇
 - 特定区域での通行許可
 を導入しており、マイクロカーの普及を後押ししています。

JP 日本との比較

項目	EU(マイクロカー:L6e/L7e)	日本(原付ミニカー、超小型モビリティ)
制度の整備度	高(明確な L 分類・免許区分あり)	途上(「超小型モビリティ」は特例扱い多い)
市場の受容性	高(特に若者・高齢者に人気)	限定的(軽自動車や原付バイクが強い)
車両デザイン	多様、欧州的设计が豊富	実用重視(コムス、WHILL など)

まとめ

- **EU のマイクロカーは、16 歳でも運転できる合法的な「超小型車」**で、公共交通や一般の自動車の中間的な移動手段として重宝されています。
- 車体は小さくても、**都市交通の未来を担う“パーソナルモビリティ”**として注目され、電動化・自動運転との親和性も高いです。